

## 1 学年でプレゼン講座を実施しました！

12月1日(水)に群馬大学の弓仲康史教授をお迎えし、「伝える力」～効果的に伝わるプレゼンテーション、コミュニケーション技法～というタイトルで1学年を対象に講演をしていただきました。弓仲先生には毎年お世話になっておりますが、プレゼンテーションの基礎的なことから丁寧にわかりやすくお話しいただき、生徒は今後の探究活動の発表に向けて実践的に学ぶことができました。

### <生徒の感想より抜粋>

プレゼンテーションについて、ネット上でも無数の情報があるこの時代の中で、実際に「生きているプレゼンテーション」を知ることができ、改めて相手を思う気持ちを感じることができました。弓仲先生自身も写真や具体例をたくさん用いてプレゼンテーションをされており、非常に説得力があると体感できました。

人に何かを伝えたいときには、伝えようとするその熱意が最も大切であることを学びました。熱意を伝えることで、相手の「心」をつかむことができ、より自分の発表内容に興味を持ってくれるのだと感じました。



「話す技術」だけでなく「聴く技術」も重要になるというお話が印象に残りました。相手と話の目線を合わせ、一体感のある話題について考えることが大事であると思いました。

自分は今までプレゼンテーションでは、自分の伝えたいことを入れることだけを考えていました。しかし、相手の立場に立って、より視覚的な負担が少なくなるようにすることが大切であるとわかりました。

自分は普段、大勢の人の前で発表するときに緊張してしまい、うまくできないことが多かったです

が、実際に相手は自分のことをあまり考えておらず、失敗を恐れずに堂々と発表することが大切であるとわかりました。

「つかみ」が大事であり、第一印象が大切であるということも学びました。また、コミュニケーションは一方的に話すのではなく、「言葉のキャッチボール」であり相手の話を聴くことの大切さも学びました。